

## 台東区次世代育成支援計画（第二期）パブリックコメントの実施結果

意見募集期間	令和元年12月9日（月）～令和2年1月9日（木）												
意見受付場所	台東区役所子育て・若者支援課、区政情報コーナー、区民事務所・同分室、地区センター、生涯学習センター1階受付、各子ども家庭支援センター、台東保健所2階保健サービス課、浅草保健相談センター、松が谷福祉会館保育園、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業所、定期利用保育室、認証保育所、一時預かり実施施設、児童館、こどもクラブ、小学校、中学校 合計 163か所												
意見受付件数	45人 98件												
提出方法の内訳	<table border="0"> <tr> <td>郵送</td> <td>0人</td> <td>0件</td> <td>ファクシミリ</td> <td>2人</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>ホームページ</td> <td>8人</td> <td>19件</td> <td>持参</td> <td>35人</td> <td>75件</td> </tr> </table>	郵送	0人	0件	ファクシミリ	2人	4件	ホームページ	8人	19件	持参	35人	75件
郵送	0人	0件	ファクシミリ	2人	4件								
ホームページ	8人	19件	持参	35人	75件								

### 基本目標1 安心して子供を産み育てられるよう切れ目のない支援を行う

#### （1）妊娠・出産に対する支援

No	意見	区の考え方
1	妊婦健診、乳幼児健診の受診率は、100%に近づけられるよう、さらなる努力、工夫を求めたいと思います。	未受診者に対する受診勧奨などを今後も継続するとともに、ひとりでも多くの方に受診いただけるよう丁寧に対応してまいります。

#### （2）母子保健の推進

No	意見	区の考え方
2	文京区の境に居住している身として、いつも文京区の病院に行っている。 台東区指定病院は普段使わないような遠方の病院を受診することになるので、一定区間については隣接する区での定期健診、予防接種を可能としてほしい。	現在、定期予防接種については、23区内相互乗り入れを実施しているため、隣接区での接種が可能です。しかし、おたふくかぜ等の区独自の任意接種や乳幼児健診については、区内の医師会の協力のもと、実施しており、他区の医師会に加入している医療機関と個別に契約を結ぶことは困難です。お住いの地域によっては、遠方までご足労いただくことになり申し訳ございませんが、ご理解のほどお願いいたします。

No	意見	区の考え方
3	1歳半健診時に、小児科受診と歯科検診が分かれており大変不便に感じた1回で済むように工夫してもらいたい。	1歳6カ月児健診につきましては、区内両医師会の協力のもと、医療機関にて受診いただく仕組みとなっておりますが、受診日時を選択できる点、かかりつけ医の定着促進を図れる点などに効果があると考えております。ご不便を感じる点もあるかと思いますが、健診の趣旨をご理解いただければと思います。
4	多胎児の移動手段や育児で困っている人は多い。公共交通機関が利用できないものが多いのでタクシー代の助成やファミサポの手厚い助成をつくってほしい。一時保育の優先権や2人目を減額するなどもあると助かると思う。	<p>一時保育は、保護者が仕事や病気等の理由により、家庭で一時的に保育ができない方を対象に、利用定員を設けて運用しており利用者数が限られています。多胎児向けの優先枠を確保することについては、今後の利用動向等を踏まえ、検討してまいります。</p> <p>なお、利用料については、多胎児も多子世帯の減額が適用されます。また、ファミリー・サポート・センターの助成については、ご意見を踏まえ、今後の区の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>また、区としての多胎児家庭への支援については、今後も多胎妊娠についての情報提供をはじめ、交流会の実施、ヘルパーの派遣などにより、精神的・身体的負担の軽減を図ってまいります。支援の充実については、いただいたご意見も踏まえ、引き続き検討してまいります。</p>
5	多胎児育児のフォロー (検診は行きたくても行けませんでした※事前連絡済)	区としての多胎児家庭への支援については、今後も多胎妊娠についての情報提供をはじめ、交流会の実施、ヘルパーの派遣などにより、精神的・身体的負担の軽減を図ってまいります。支援の充実については、いただいたご意見も踏まえ、引き続き検討してまいります。
6	検診を土曜日や日曜日に実施する (検診行くために終日仕事を休む現実があります。ただでさえ、こどもの病気で休みまくっているので、民間企業に勤めるママは厳しいです。)	区では質の高い健康診査を受けていただくため、医師・歯科医師・心理相談員・保健師・歯科衛生士・栄養士等多くの専門職により、健康診査並びに個別相談を実施しています。そうした多職種連携が必要なことから、現時点では、土曜日や日曜日の実施が難しい状況です。そのため、保護者の皆様にはご不便をおかけする点もございますが、健診の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。
7	基本目標1) おたふくかぜの予防接種の助成は素晴らしい!	ご意見をいただき、ありがとうございました。今後も引き続き、より満足度の高い事業の推進に努めてまいります。

## 基本目標2 教育・保育の質と量を充実する

### (1) 教育・保育施設の整備

No	意見	区の考え方
8	<p>1歳児以降の保育園中途入園の定員を増やして欲しいです。0歳児で保育園に入らなければその後の保活が困難になるから月齢6ヶ月くらいで泣く泣く我が子を預けて職場復帰をする人を沢山見てきました。</p> <p>周りの子育て中のお母さんとお話していても、預けたいタイミングで預けられるかわからないからまだ自分で育てたい時期の復職になってしまうという意見をよく聞きます。</p> <p>私自身も保活に苦労し復職が困難になるのではと散々悩みましたが、5ヶ月で保育園に入れることはとても考えられず現在待機児童をしています。</p> <p>1歳以降の定員が増えれば、育休をとり子育てに専念する期間の選択肢が広がると思います。</p>	<p>区では、年度途中で産休・育休から職場復帰を予定されている方を対象に、「産休・育休明けの入所予約事業」を実施しております。また、本計画に基づき、待機児童の解消を図るため、待機児童の分布や保育ニーズなどを見据えながら保育施設の整備を進めてまいります。</p>
9	<p>既に待機児童数の低減等に関わる施策を打っていることは素晴らしいと思う。</p>	<p>本計画に基づき、待機児童の解消を図るため、待機児童の分布や保育ニーズなどを見据えながら保育施設の整備を進めてまいります。</p>
10	<p>小学生と幼稚園に来年度から入園する子供がいる立場から見て、区立幼稚園の入園希望者の急な低下が気になっています。</p> <p>策定時にはここまでとは予想されていなかったのかもしれませんが、定員の調整やこども園への転換など考えて頂きたいです。</p>	<p>区立幼稚園につきましては、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、未就園児の会や子育て相談などを実施し、地域に根差した幼児教育を行ってまいりました。</p> <p>また、小学校に併設している利点を活かし、広い校庭や体育館を利用した体を思いきり動かす活動や、就学前と就学後の教育のスムーズな接続を図るため合同行事や合同研究を実施しております。残念ながら園児数は平成29年度以降減少傾向でございりますが、社会情勢が変化してきた現在でも、こうした特色を活かした幼児教育を提供していく必要があると認識しており、区立幼稚園の魅力の向上と発信に努めてまいります。</p>

No	意見	区の考え方
1 1	<p>台東区の現状を数値とグラフで見れた事がとても役に立ちました。台東区の人口、子供の人口が増えていることなどはとても喜ばしいことだと思いますが、歴史ある区立幼稚園が定員割れをしており、存続の危機に面している点、区としてはどのようにお考えでしょうか。</p>	<p>区立幼稚園につきましては、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、未就園児の会や子育て相談などを実施し、地域に根差した幼児教育を行ってまいりました。</p> <p>また、小学校に併設している利点を活かし、広い校庭や体育館を利用した体を思いきり動かす活動や、就学前と就学後の教育のスムーズな接続を図るため合同行事や合同研究を実施しております。残念ながら園児数は平成 29 年度以降減少傾向でございしますが、社会情勢が変化してきた現在でも、こうした特色を活かした幼児教育を提供していく必要があると認識しており、区立幼稚園の魅力の向上と発信に努めてまいります。</p>
1 2	<p>区立幼稚園が無くなってしまうのでは？と心配されている方も沢山います。</p>	<p>区立幼稚園につきましては、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、未就園児の会や子育て相談などを実施し、地域に根差した幼児教育を行ってまいりました。</p> <p>また、小学校に併設している利点を活かし、広い校庭や体育館を利用した体を思いきり動かす活動や、就学前と就学後の教育のスムーズな接続を図るため合同行事や合同研究を実施しております。残念ながら園児数は平成 29 年度以降減少傾向でございしますが、社会情勢が変化してきた現在でも、こうした特色を活かした幼児教育を提供していく必要があると認識しており、区立幼稚園の魅力の向上と発信に努めてまいります。</p>
1 3	<p>教育・保育設備の整備に関して、これまで取り組んでこられた努力が実り平成 28 年度を境に待機児童の数が減少していることは高く評価いたしますが、依然、待機児童が発生していることは事実ですので、待機児童をゼロにすべく、認可・認証を問わず保育園の数を増やす努力をしていただくと嬉しく思います。具体的には期間限定で設置された御徒町緊急保育室のような保育園を複数設置し、保護者の意見をヒアリングし、需要が高いと判断できる園に関しては暫定的な設置から常時設置に切り換えるなどの方策が望ましいと考えます。また、保育園の数を増やすにあたり、保育士の確保が大変重要になると思いますので、保育士の賃金や福利厚生など処遇を改善すべく補助金を確保するなどの政策があると良いと思います。</p>	<p>本計画に基づき、待機児童の解消を図るため、待機児童の分布や保育ニーズなどを見据えながら保育施設の整備を進めてまいります。また、本区では、保育士の確保を促進するため、宿舍借上げ支援事業やキャリアアップ補助金などで処遇改善に努めるとともに、保育士等の子供の保育園入園申請の際に指数を加算することにより、職場復帰を支援しております。</p>

No	意見	区の考え方
14	<p>谷中エリアに幼稚園が3つあります。女性の活躍を推進させようという動きがある中幼稚園に預けるのでは正社員が働くことは難しいと思います。台東区全域で考えると保育園の数は増えていますが、預けるだけでなく通勤を考えると自宅近くないと意味がありません。以前友人が問い合わせた時に土地がないからという返答だったのですが本当にそうなののでしょうか。保育園に預けることが難しいからと仕事を復帰できないでいる友人もいます。都外から越してきて入園できず、子供を実家に残したまま離れてくらしている知人もいます。実家は兵庫だそうです。保育園の増設を切望すると共に、難しければ幼稚園の延長保育の時間を18時～19時へ延ばし夏休み、冬休み期間も保育できるよう体制を整えていただけないのでしょうか。お願いします。</p>	<p>本計画に基づき、待機児童の解消を図るため、待機児童の分布や保育ニーズなどを見据えながら保育施設の整備を進めてまいります。また、現在、区立幼稚園では、教育時間後の預かり保育を実施しておりませんが、私立幼稚園が実施している預かり保育を支援しております。私立幼稚園からは、提供時間の延長や長期休暇中の実施に関しては教諭の確保や実施場所の調整等が必要になるとの話を伺っております。ご意見については改めて各園に情報提供させていただきます。</p>
15	<p>近所（谷中地域）にあるのは、幼稚園ばかりで保育園が少なく不便しております。 他にも同じ様に思い不便を感じているまたは、それが原因で待機児童が増えてしまう要因の一つになるのではないのでしょうか？ 近隣の保育園設立を考える事はできないのでしょうか。是非、ご一考くださいませ。</p>	<p>本計画に基づき、待機児童の解消を図るため、待機児童の分布や保育ニーズなどを見据えながら保育施設の整備を進めてまいります。</p>
16	<p>台東区全体として保育園が少ない。待機児童が多い。特に谷中地区には保育園が少なく困っています。近所の保育園は倍率が高すぎて入れません。</p>	<p>本計画に基づき、待機児童の解消を図るため、待機児童の分布や保育ニーズなどを見据えながら保育施設の整備を進めてまいります。</p>
17	<p>谷中地区に保育園をもっとふやして下さい。特に5歳までの保育園がとても少なく困っています。また、台東区全体としても保育園が少なく困っています。 希望の園を出しても落ちるので、行きたい保育園を選ぶことができません。 幼児期の大事な時期に過ごす園を親が決めることができないのはとても残念です。 私は荒川区から転入してきましたが、保育にかける施策がとても少なく驚いています。</p>	<p>本計画に基づき、待機児童の解消を図るため、待機児童の分布や保育ニーズなどを見据えながら保育施設の整備を進めてまいります。</p>

No	意見	区の考え方
18	公立幼稚園の入所率の低さに必要性がわからない。	区立幼稚園につきましては、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、未就園児の会や子育て相談などを実施し、地域に根差した幼児教育を行ってまいりました。 また、小学校に併設している利点を活かし、広い校庭や体育館を利用した体を思いきり動かす活動や、就学前と就学後の教育のスムーズな接続を図るため合同行事や合同研究を実施しております。残念ながら園児数は平成29年度以降減少傾向でございますが、社会情勢が変化してきた現在でも、こうした特色を活かした幼児教育を提供していく必要があると認識しており、区立幼稚園の魅力の向上と発信に努めてまいります。
19	区立幼稚園は定員割れ、しかし保育園に入れなくて困っている人がいる。担当省庁の違いなど、あるとは思いますが、定員割れした幼稚園の空きスペースを、保育所や学童(放課後子どもクラブ)などに活用することができたらいいなと思います。	幼稚園の空きスペースを保育園やこどもクラブ等に活用することは、課題が様々なことから、現状では困難だと考えております。今後、研究してまいりますので、ご理解のほどお願いいたします。
20	池之端地区に保育園を新設してください。足りずに困っています。何年も状況が変わらず。土地がないと言いますが、マンションの新築が進んでおり、ニーズは高まっています。早急に対応してください。	本計画に基づき、待機児童の解消を図るため、待機児童の分布や保育ニーズなどを見据えながら保育施設の整備を進めてまいります。
21	区立幼稚園について ・明るく良い先生が多く、小学校の広い校庭を利用できる等、環境も良いのに、園児数が定員割れしてしまうのはもったいない。	区立幼稚園の魅力についてご理解いただきありがとうございます。このような良い点がより多くの方に伝わるよう、区立幼稚園の魅力の向上と発信に努めてまいります。

## (2) 多様な保育サービスの展開

No	意見	区の考え方
22	ファミサポ、いっとき保育、病後児保育等のたくさん取り組みはわかりますが、どれに参加するにも手続きに面接→書類作成と面倒だと感じるばかりが目立ちます。0歳児検診の時に、一度で済まないものでしょうか。本当に必要と思ったときに利用できません。	ご意見の中で例示されている事業のうち、居宅訪問型病児・病後児保育は、運営事業者と直接手続きしていただくことで利用できます。居宅訪問型病児・病後児保育以外の事業について、事前登録・事前面談をすることは、責任を持って、お子さまを安全にお預かりするために必要なものと考えております。ご理解のほど、お願いいたします。また、健診時の複数事業の一斉の事前面接については、ご意見を踏まえ、今後の区の施策の参考とさせていただきます。

No	意見	区の考え方
23	<p>働きやすい(会社にしやすい)環境を整えてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●病児保育</li> <li>●低年齢の待機児童減</li> <li>●子育てママリソース活用</li> </ul> <p>※子連れでも働ける場所の提供、マッチング  ※区が運営している子ども向け設備  ※営利目的ではない、集会開催時の集客フォロー</p>	<p>病児・病後児保育につきましては、現在、居宅訪問型利用料助成や特定施設における病後児保育を実施しております。今後も区民の方へ制度等について周知することにより、保護者が利用しやすいよう努めてまいります。</p> <p>また、これまでも認可保育所を誘致するなど、施設の整備を進めてまいりましたが、いまだ待機児童が発生している状況です。本計画に基づき、引き続き施設を整備し、待機児童の解消に努めてまいります。</p> <p>さらに、区では、内職あっせんのほか、隣接するハローワークうえのと連携し、就職活動を支援しております。区内中小企業を対象に、職場のワークライフバランスを推進するための経費の一部助成や融資制度など、職場環境向上に向けた支援も行っております。</p> <p>区が運営している子供関係施設や集会開催時の集客等での、保護者の方の雇用につきましては、ご意見を踏まえ、今後の区の施策の参考とさせていただきます。</p>
24	<p>一時保育系が利用しづらい。他区の友人の話をきいているともっと利用しやすいらしい。預ける場所(いっとき保育のところは特に不便。ふやしてほしい)、定員、申込のしやすさ、近所の園の預けられる理由をもっとカジュアルにしてほしい。調査では「実態と乖離～」という文言が”よくみられた”が、そもそも申込のない(候補として考慮できない)くらい”つかえない”と判断されているのでは?利用のハードルを下げる、電子申込・抽選にするなど、民間の例を参考にしてサービスを拡充してほしい。</p>	<p>いっとき保育事業等の拡充につきましては、ご意見を踏まえ、実施施設それぞれの稼働率等を検証するとともに、行政需要・行政課題を勘案し、検討させていただきます。また、一時保育は、保護者が仕事や病気等の理由により、家庭で一時的に保育ができない方を対象に、利用定員を設けて運用しております。なお、予約管理の方法等については、ご意見を踏まえ、引き続き検討してまいります。</p>
25	<p>一時保育の利用手続きを簡略化してほしい。子どもを連れて朝一で区役所に行くのは困難なのでオンラインなどでできると助かる。</p> <p>急な利用ができない、利用条件が他の地域と比べて厳しいと感じている。</p>	<p>申込み方法につきましては、ご意見を踏まえ検討してまいります。</p> <p>また、初めてご利用される場合は、概ね2週間前までに申し込みをし、事前面談を受けていただいております。これは、責任を持って、お子さまを安全にお預かりするために必要なものであると考えております。ご理解のほど、お願いいたします。</p>

No	意見	区の考え方
26	求職中なので保育園を探すのが必須だけど、現実的に無理なので困っています。今は児童館に行くことで母子（0歳）共に大変助かっていますが、これから歩き出し動くようになるとこのままでは保育的にも親だけでフォローできそうもありません。一時保育のようなサービスがもう少し拡充されると嬉しいです。また働き出した後の不安として、病児保育の面が他区より手薄いと聞くので、その点も改善される事を期待します。	いっとき保育事業等の拡充につきましては、ご意見を踏まえ、実施施設それぞれの稼働率等を検証するとともに、行政需要・行政課題を勘案し、検討させていただきます。また、病児保育につきましては、現在、居宅訪問型利用料助成を実施しておりますので、引き続き制度について周知してまいります。
27	親 or 子が病気の際にすぐあずけられる所があればうれしい	保護者が病気の際、事前登録及び予約がお済みの場合は、ショートステイ事業またはいっとき保育事業がご利用いただけます。子供が病気の際の病児・病後児保育につきましては、現在、居宅訪問型利用料助成や特定施設における病後児保育を実施しております。
28	短時間でも家事の補助等してくれる支援がほしい（6か月まで1時間500円でしてくれるサービスがあるが、1歳くらいまでにしてほしい）	育児支援ヘルパー（産前産後支援）については、産後、母の体調が安定するまでの概ね6か月を目安に利用期間を設定しております。利用期間の延長については、いただいたご意見を踏まえ、今後の利用者の意向を鑑み、区の施策の参考とさせていただきます。
29	緊急時（特に当日）の一時保育受け入れの充実の希望をします。	一時保育事業の当日受付については、給食の準備を含め運営態勢の確保が困難であるため、原則、前日（平日のみ）の正午までの申し込みをお願いしております。ただし、初めてご利用される場合は、お子さまを安全にお預かりするため、園で事前に面接を行う必要があるため、概ね2週間前までのお申し込みをお願いしておりますので、ご理解のほど、お願いいたします。また、いっとき保育事業は、事前登録がお済みで、施設の空きがある場合は、当日ご利用いただけます。
30	6年前からのファミリーサポート活動や子育て支援講習、その後の保育補助活動を通して思うことは、特に0～2才保育にあたり、その子供たちとママパパ達への細やかなサポートがいかに大切であるかということです。区立保育園の大人数保育よりも、認可を受けた家庭的保育室（台東区では7ヶ所）の良さを保護者のみならず、区役所の方にももっと認識していただき、運営にあたり長期的なバックアップをしてほしいです。また、せっかくの一時預かりやファミリーサポートとの連携を考え検討していただきたいです。	平成30年度のニーズ調査でも、様々なニーズに対応した保育サービスが望まれており、区としてもその必要性を認識しております。 本計画で多様なサービスの展開について掲げており、家庭的保育事業もニーズに応じた有効な方策であるため、引き続き必要な支援を行ってまいります。



No	意見	区の考え方
31	病児、病後児保育利用人数のパーセンテージが低く、保護者が休み、家庭で療養する人がほとんどだが、やはり具合の悪いままつれてくることが多く、集団で広がってしまう、もう少し厳密なルールがほしい。(保護者によっては子の具合や他人に広げてしまう、と考えるよりも仕事を休めるか、休めないかの方が、優先になってしまう人が増えている。地方から出てきていて、協力者がいないなど、あるだろうけれども、ルールを無視する人が多くなっている。)	保育園では、子供の状態を受け入れ時に把握し、保育が可能であるかの判断をしております。各保育園で一定の基準がございますので、引き続き保護者への周知に努めてまいります。
32	いつとき保育や一時保育など、満1歳児からではなく、0歳からでも使えるものもほしい。急に必要でも、0歳にはチョイスすらない。	一時保育の緊急利用(保護者の入院・看護等)の場合は生後8か月から利用可能となっております。いつとき保育事業も含め、0歳児の受入れについては、安全に保育を進めていくためには環境面での課題があるため、困難です。ご理解のほど、よろしくお願いたします。

### (3) 教育・保育サービスの質の向上

No	意見	区の考え方
33	保育園の先生方がお休みを取れているのか心配です。休める様な職場環境を整備してほしいです。(現場の職員さんへの不満ではありません)	保育士の職場環境につきましては、保育の質の確保や、保育士の離職防止を図る上で、大変重要であると考えています。今後とも保育事業者に対して、保育所指導検査基準に基づき、適切な指導を行ってまいります。
34	オムツの持ち帰りをやめてほしいです。(これも現場の職員さんへの不満ではありません)改善よろしくお願いします。	一部の保育園では、紙おむつの持ち帰りを実施しております。頂いたご意見を対象の園に伝えてまいります。
35	子供が保育園に通っているが、昨年1年で当初から在籍していた先生がほぼ全員退職した。1年で先生がほぼ全員おやめになるという状況はよくあることなのか。新しい先生方とは元々の先生達ほどはコミュニケーションをとらないので心配している。	保育士同士はもとより、運営事業者・保育士・保護者相互のコミュニケーションを円滑にし、運営の安定化と園児の安全・安心を確保することが重要であると考えています。 区では引き続き、運営事業者に対して適切な園運営を指導してまいります。

No	意見	区の考え方
36	<p>区立幼稚園に通園しています。給食にしてもらえると希望者が増えると思います。又は「水曜午前保育」の復活を望みます。</p> <p>週5日のお弁当作りはかなりの負担です。</p> <p>園児が減っているのに PTA 会費 UP が納得できないです。</p>	<p>区立幼稚園においては、ご家庭でお弁当を作り、それを持参し、お子さまが園で食べるということに、食育として一定の意義、重要性があると考えております。</p> <p>しかしながら、この度の幼児教育・保育の無償化の動きや、区立幼稚園においても給食の提供を望む声があることを踏まえ、給食の実施について検討をすすめてまいります。</p> <p>PTA 会費については、それぞれの PTA において決定されるものであり、区が関与するものではございませんが、ご意見についてお伝えいたします。</p>
37	<p>区立幼稚園について</p> <p>働き方改革もあり、現職の先生方には負担をかける範囲で、民間委託のこども園にせずに、先生の人数を少し増やし、母親がパート等で働けるよう延長保育を取り入れたり、給食を取り入れたりしてほしい。</p>	<p>保育時間の延長につきましては、課題が様々あることから、一時保育やいつとき保育など他の事業の実施状況を踏まえながら、研究をしております。</p> <p>給食につきましては、この度の幼児教育・保育の無償化の動きや、区立幼稚園においても給食の提供を望む声があることを踏まえ、実施について検討をすすめてまいります。</p>
38	<p>副食費の有償も他区や市部でも無償の所がある中、23区で数少ない有償も残念。23区の中で、3番目に人口の少ない区ということは相対的に子の人数も少なく、台東区ならできると思います。</p>	<p>幼児教育・保育の無償化では、食材料費は無償化の対象外となっております。主食費相当分は、これまでどおり区負担としますが、保育料の一部として徴収していた副食費相当分は、負担の公平性等を考慮して、徴収することといたしましたので、ご理解のほど、お願いいたします。</p>
39	<p>第3部第3章2の「(3) 教育・保育サービスの質の向上」における、「保育や子育て支援の専門性を高め」について。専門性だけでなく、根源的な自己肯定感や他者への愛情を、保育・教育に携わる方々が持ち、個性豊かにのびやかに、人が本来持っている良心や愛情に基づく保育がなされるよう、心の整え方についての研修も、ぜひお願い致します。知識やテクニックではなく、保育士の心が健やかであり、国の将来を担うと言っても過言ではない幼児教育の一端を担うという誇りを持てる機会を作っていただければと思います。また、環境教育ではなく情緒を育む活動として、自然環境に触れる活動をより積極的に取り入れて頂けたらと思います。</p>	<p>台東区幼児共通カリキュラム「ちいさな芽」に基づき、研修支援専門員が幼稚園・保育園等を訪問して保育観察を行い、幼稚園教諭・保育士等に対して心のケアも含めた助言を行うことで、健全な保育・教育の実践に努めています。また、保育所保育指針等に基づき、各園で生物や植物等の自然環境に触れる活動を取り入れております。</p>

(4) 児童・生徒の放課後の居場所づくり

No	意見	区の考え方
40	<p>放課後児童クラブの定員増については単に人を増やすだけではなく質を担保するようにしてほしい。</p> <p>たくさん受け入れるだけではなくて安心安全な時間を過ごせるような人員の配置、トラブル防止につとめてほしい。</p>	<p>こどもクラブの運営にあたっては、職員の配置基準を設け、子供たちが安全・安心に過ごせるような体制づくりに努めております。併せて、現場に保育経験のある区職員を派遣し、子供への接し方などの巡回指導を行い、現状の把握と助言・指導の充実を図っております。また、こどもクラブごとに毎年アンケート調査を行い、ニーズや問題点を把握し、改善に向けた取り組みを実施しておりますので、ご理解のほど、お願いいたします。</p>
41	<p>住んでいる地域には児童館もあり、放課後子供教室もあるので、子どもも充実した放課後を過ごしていますが、少し離れるとなくなります。区内の地域格差を早急になくして頂きたいと思えます。</p>	<p>区では、放課後の居場所としてこどもクラブや児童館、放課後子供教室を実施しています。また、全小学校で校庭や体育館等を開放し、遊びやスポーツの場を提供する生活指導子供会を小学校PTA連合会に委託し、実施しています。現在、放課後子供教室は、各小学校やPTA、コミュニティ委員会など関係団体の方々との協議・調整がついた小学校から順次実施しており、今後、全小学校での実施に向け推進してまいります。ご理解のほど、お願いいたします。</p>
42	<p>育休があるとはいえ、0歳児育児は大変な労力、精神的疲労がかかります。しかし、0歳児対応の児童館が少なく学童メインだったり、一時預かりなどもほとんどなかったりと小さい子供と親のリフレッシュの場が少ない。他区では0歳児クラスのカリキュラム、歌(お昼寝)、ダンス(アート)などしっかり組まれていて行きやすかった。もう少し内容を検討してほしい。</p>	<p>区内全児童館では、0歳から3歳までの子供と保護者を対象に歌遊びや音楽に合わせた体操などを行う「幼児タイム」を実施しております。今後も子育ての不安や負担の軽減につながるよう、内容の充実に努めてまいります。</p>
43	<p>今まで保育園、こども園、こどもクラブで保育支援を受けてきました。子供の年齢によってその都度要望も変化しますが、各施設で適度に保育指導いただきました。</p> <p>高学年の放課後については本人が過ごしたいと思う場所を選ぶため、大人の意向(希望)に合わせるのは難しいと思いますが、自宅以外の居場所を低学年のうちにつくってあげられるようにするのは大事かと思えます。</p>	<p>子供の居場所づくりのため、現在区では、学習支援及び子供食堂を実施している団体に対し、子供育成活動支援事業として補助金を支給しています。また、児童館やこどもクラブ、放課後子供教室等、放課後の児童の居場所についても、引き続き、必要な家庭が利用できるよう努めてまいります。</p>

No	意見	区の考え方
44	育英小に通う小学生と幼児の子供がいます。友達から聞いたのですが、蔵前小では放課後クラブに民間のトライが入り、プログラミングなどのイベント実施があるとのこと。同じ区立の小学校なのに育英小にはなくうらやましいと思います。親が仕事をしている、していないに関わらず、利用できるそうで、区内のすべての小学校に開設して欲しいと思います。同じ区内の区立の小学校なので教育に差をつけてはいけないと思います。学童は利用者が増えているので3年生は入るのが難しいと聞きます。放課後も安心して子供たちが過ごせる居場所があるといいなと感じます。	「放課後の安全・安心な居場所」の一つとして、現在、区内全小学校で放課後子供教室実施に向けた調整を行っており、調整がついた小学校から順次実施しております。また、放課後子供教室の実施プログラムについては、事業者ごとに異なっておりますが、実施校では毎年アンケート調査を行い、ニーズに即したプログラムの提供を心がけております。

### 基本目標3 子供や親の学びと遊びの場を整備する

#### (1) 就学前教育の推進

No	意見	区の考え方
45	区立幼稚園ももっと体操教室などを充実してもらいたいです。	区立幼稚園に対しておおよそ月1回のペースで民間のスポーツ指導員を派遣しています。その方法・回数等については、今後も各園の意向を踏まえて実施してまいります。

#### (2) 学ぶ環境の整備

No	意見	区の考え方
46	例えば、政治経済の中心東京の台東区の中学生の学力が、全国平均を大きく下回っている事は、大問題ではないか？	学力向上に向けた対策は非常に重要な課題であると認識しております。学力の差が顕著に表れる中学生段階では、一人一人の課題に応じた学力向上対策を進めていく必要があると考えております。今後も、各学校の取組が子供の資質能力の向上に資するよう、関係事業の推進に努めてまいります。
47	現在、中学校の特別支援員をしており、様々な問題を抱えた子供達と触れ合っています。彼ら、彼女らを幼少期から丁寧にケアしてあげることができたら、もっと素直に成長していたのでは、とおもってしまいます。ぜひ横の連携をさらに深めて、すべての子供が幸せに暮らせる台東区を目指してください。	特別支援教育支援員については、各幼稚園・保育園、小中学校における支援の必要状況等を考慮してそれぞれの配置数を決定しております。今後も、支援の連携について考慮しながら、適切な配置に努め、すべての子供が幸せに暮らせるまちを目指してまいります。

No	意見	区の考え方
48	<p>小中学校の英語教育及び ICT 教育の推進…が急がれている昨今であるが、教師は現状、多忙を極めており教師がこれらを授業に取り入れるのは困難と思われる。国家予算を投入してでも地域在住のその道のプロや民間企業の力を積極的に導入し、クラブ活動や放課後こども教室などでもそれらが継続して利用、学習出来る環境作りをすべきと考える。また児童館にも子どもたちが利用可能な英語教材、パソコン、ロボティクスキット等を配備し、指導できる人材を地域から募ることで引きこもり等の若者の支援にも繋がる可能性を模索すべきと考える。塾などに依存せずとも学校や児童館で英語や PC、ロボティクス教材に触れることが出来れば所得格差によるこどもの学ぶ機会の格差軽減も可能と考える。</p>	<p>A L T を配置した英語教育や情報活用能力の育成に資する I C T 教育が日常的に行われているところです。今後も区内の教育の機会均等のため全ての教育の質の向上を図ってまいります。また、放課後についても、放課後子供教室や児童館において、英語やプログラミングなどの催しや関連する書籍等を配架するなど、学ぶためのきっかけ作りとなるよう努めてまいりました。今後も、現代的な教育課題に即した教育活動の充実に努めるとともに、放課後子供教室や児童館での活動も推進してまいります。</p>
49	<p>基本目標 2) 教育活動アシスタントについては、ボランティアだけに頼らず、人員確保の方向で検討して欲しい。体育や、例えば種まきなど、座学でない時は、安全面に不安がないとは言いきれない。</p>	<p>「教育活動アシスタント」の募集の際には広報の仕方を工夫し、人材確保に努めてまいります。そして、安全面への配慮をはじめとした、児童・生徒への指導内容や方法につきましても、各学校へ適切に周知してまいります。</p>
50	<p>スクールカウンセラー 相談がある時に自ら部屋に行き話をするという形だとなかなか利用が気軽に出来ないように感じます。</p>	<p>各学校では、子供の状況に応じて時間や場所を工夫して対応しているほか、休み時間、授業中、給食時間中などスクールカウンセラー自身が観察して、気になる子供に自ら声をかけるなど、悩みや不安を抱えている子供に十分に注意をしております。</p> <p>また、スクールカウンセラーは授業時間中や放課後等に保護者の方からの相談も行って、様々なご事情も伺っておりますので、ぜひご活用ください。</p>

### (3) 子供の参画・多様な活動の機会の充実

No	意見	区の考え方
51	<p>区内でスポーツのできる施設（プールや体育館）が少なく、上野桜木や谷中側がない</p>	<p>狭隘な都心区である台東区では、スポーツ施設の用地を新たに確保することが大変難しい状況にあります。そのためご指摘の地域を含め学校を活用し、スポーツができる環境整備に努めております。</p>

No	意見	区の考え方
52	清島プールのように曜日限定、短期ではなく、荒川スポーツセンターのように1年単位でスイミング教室を開催して欲しい。	清島温水プールは多数の方が利用することから様々なニーズがあると考えております。そこで、幅広い年齢層や多種多様なニーズに対応するために短期間の様々な教室を開催しています。今後も引き続き同様の教室運営を行ってまいりますので、ご理解のほど、お願いいたします。
53	区立小学校では5年ビーチボール大会を開催しているが、中学になるとビーチボール部もなく、行う機会が減ってしまいもったいないように思う。中高生になってもビーチボールを楽しむ機会があると嬉しい。	区では、リバーサイドスポーツセンターで一般開放事業を毎週木曜日に実施しています。また、区で支援している総合型地域スポーツクラブの「たなかクラブ」でもビーチボールの教室を毎月第1、3金曜日に実施しております。このような機会を通じ、ビーチボールを楽しむ機会を引き続き提供してまいります。

#### (4) 安心できる遊び場の整備

No	意見	区の考え方
54	遊び場も、本当に少なく感じます。谷中地区、遊具が充実している公園（校庭を含め、）はありません。児童館も先生たちが工夫して下さっていますが、ホールも自由に開放してください。男子に圧倒された女子は体を動かさせません。	区立公遊園については、遊具の設置を含めた改修工事を毎年実施しております。その際は地元や利用者の方々の意見を踏まえて改修工事を行うため、今後の改修工事の際に遊具の設置を検討させていただきます。また、児童館では、館内の遊戯室（ホール）や図書室などを自由にご利用いただけます。しかし、イベント開催時などには安全性の確保という観点から、年齢層や場所、時間を区切ってご利用いただくこともございますので、ご理解のほどお願いいたします。
55	児童館について、館内・屋上共にきれいで、子供達が手ぶらで行ける安全安心な居場所。もっと子供達に児童館を利用してもらいたい。	「安全・安心な居場所」の一つとして機会を捉え、児童館利用の周知に努めてまいります。
56	児童館について、中高生になっても、ボランティアとしても利用してもらいたい。	児童館では、中高生のボランティアを随時募集しております。今後も「0歳から18歳までが利用できる施設」として、広く周知に努めてまいります。
57	児童館について、子供達が児童館に行く機会を持つように、夏休みの課題の一つとして児童館に行く事を取り入れてみてはいかがでしょうか。	「児童館は、安全・安心な楽しい居場所」ということを広く周知し、児童が自発的に来館してもらえるよう、各児童館の特徴や特色などをわかりやすく情報発信することで、児童館利用の促進に努めてまいります。

No	意見	区の考え方
58	児童館について、イベントのもぐもぐクッキングが楽しく人気。人数が限られてしまうので、もっと開催してほしい。	児童館を運営している台東区社会福祉事業団と協議の上、今後検討してまいります。
59	児童館について、児童館は、他学校・他学年が一緒になって遊び、学ぶことができる貴重な場所。	いただいたご意見を踏まえ、引き続き児童館運営に取り組んでまいります。
60	児童館について、現代は、公園での禁止事項が多く自由に遊べない。児童館がその役割も果たせるよう努めている。	いただいたご意見を踏まえ、引き続き児童館運営に取り組んでまいります。
61	児童館について、遊びを通して、「できる」「できた」を大切にしている。	いただいたご意見を踏まえ、引き続き児童館運営に取り組んでまいります。
62	児童館について、子供は子供同士で遊びながら自然にルールや役割分担が生まれる。人との関わり方を学べる。	いただいたご意見を踏まえ、引き続き児童館運営に取り組んでまいります。
63	子供達が自由にボール遊びできる公園を増やして欲しい。	区立公遊園については、公園施設の設置を含めた改修工事を毎年実施しております。その際は地元や利用者の方々の意見を踏まえて改修工事を行うため、今後の改修工事の際に検討させていただきます。
64	南千住汐入公園のような、芝生があり家族や仲間が集ってピクニックができるようなスペースが欲しい。BBQができるスペースが欲しい。	区立公遊園については、公園施設の設置を含めた改修工事を毎年実施しております。その際は地元や利用者の方々の意見を踏まえて改修工事を行うため、今後の改修工事の際に検討させていただきます。
65	園庭のない保育施設も増え、公園遊びも時間によってはたくさんのお子さん達でいっぱいです。体を動かすことのできる遊び場の充実を計画して下さってありがとうございます。よろしくお願い致します。	本計画に基づき、引き続き体を動かすことのできる遊び場の充実に努めてまいります。

## 基本目標4 子育て支援環境の充実を図る

### (3) 地域における子育て支援の充実

No	意見	区の考え方
66	<p>家庭支援センターぽかぽかひろばを利用させて頂いております。毎月、楽しい行事を計画してくださる優しい職員の皆さまのおかげで、子どもひろばが大好きです。</p> <p>さて今回ご意見させて頂いたのは、ぽかぽかひろばの出入り口のシステムについてです。「インターホンを押してから入る」という決まりがありますが、自動ドアなので、自由に出入りができます。</p> <p>子どもが被害にあう信じられないような事件を多く耳にする昨今、防犯面で心配を感じております。インターホンを押して職員の方が確認後、施錠が解除されるといったシステムが導入されると、より安心して子どもを預けたり、遊んだりすることができると思います。</p> <p>色々ご事情があり難しいとは思いますが、ご検討頂ければ幸いです。</p>	<p>ご意見をいただきました件は、施設運営上の課題として認識しており、施設の安全性向上をより一層図るため、自動ドアの改修工事を今年度中に行う予定です。</p>
67	<p>ほぼ毎日「のびのびひろば」を利用しています。スタッフの方も親切で、子供の運動の為だけでなく、私の息抜きにもなっています。</p> <p>もっと午後にイベントがあると嬉しいです！これからもよろしくお願いします。</p>	<p>イベントの企画・運営につきましては、乳幼児の生活リズム等に配慮しながら開催しています。開催頻度については、利用者の意見を踏まえ、今後検討してまいります。</p>
68	<p>0歳児向けのイベントが午前中ばかりなので、午後にも開催してほしい。</p>	<p>イベントの企画・運営につきましては、乳幼児の生活リズム等に配慮しながら開催しています。開催頻度については、利用者の意見を踏まえ、今後検討してまいります。</p>
69	<p>台東子ども家庭支援センターのトイレが外に有るので不便です。また、2歳にもなると走り回りがたくてしょうがないので他の子を考えると足が遠のく。ホールを使っていない時は開放して自由に使用できるようにしてほしい。</p>	<p>施設の設備面及び運営方法につきましては、課題もございいますので研究させていただきます。なお、毎月多目的ホールで大型遊具を使用したイベントを実施しておりますので、ご参加をお待ちしております。</p>
70	<p>台東子ども家庭支援センターの方に、いつもとても良くしていただいています。他人にお願いできないようなことも率先して気がついてくださり、声をかけてくれるので、大変心強く、丁寧な対応には頭が下がるばかりです。ありがとうございます。感謝でいっぱいです。</p>	<p>これまでも子育てに関する相談や子育て支援事業を通じ、安心して子供を生み育てることができる地域環境の形成に取り組んでまいりました。今後も引き続き、より満足度の高い事業の推進に努めてまいります。</p>



## 基本目標5 子供が安心して安全に育つ環境をつくる

### (1) 子供の権利擁護

No	意見	区の考え方
7 1	子供の権利擁護 小学校で担任についてのアンケートを取った際、記入をしたところ、担任に直接話を聞かれ、子供自身(書かなければよかった)と思うような事がありました。担任本人がアンケートを取り、記名をさせる方法は最善なのでしょうか。	アンケート調査の記名式・無記名式につきましては、いずれもメリットとデメリットがございます。今後も調査の目的に応じて、適切なアンケート調査を実施するよう、各学校に周知してまいります。

### (2) 児童虐待の防止

No	意見	区の考え方
7 2	昨今、児童虐待の問題が何度も対応不十分などで提起されている中、区の計画では内容の具体性のないものが計画されている様に感じました。これでは、問題を未然に防ぐことや対応することが難しいのではないかと思います。もっと具体的にどう関わっていくのか提示すべきだと思います。	児童虐待の防止については、第3部第3章個別施策の展開の中の基本目標5(2)児童虐待の防止において、現況及び今後の区の取組みについて、記載しております。児童虐待に対しては、子ども家庭支援センターを中心とし、虐待予防のための活動や早期対応に向けて事業に取り組んでまいります。

### (3) 交通安全・防犯・災害対策の強化

No	意見	区の考え方
7 3	保育園、小学校周辺道路の歩道と車道の整備 小さな子供が歩くのに危険な場所があるので、整備していただきたい。	各地で相次ぐ児童を巻き込んだ交通事故の発生を受け、区では未就学児の移動経路における交通安全の観点による点検を実施し、現在、その対策を行っております。 また、小学校についても、学校・教育委員会・警察・道路管理者が連携して通学路の安全点検を実施し、登下校時の危険の解消と安全の確保に努めております。 今後とも、より安全な園外活動や登下校を実現するため、道路の整備を含め、関係各所と連携し、児童の安全確保に最善を尽くしてまいります。
7 4	子供達が安全に登下校できるように、マンション前の歩道等に置いてある自転車の撤去を徹底してほしい。	区では、「東京都台東区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例」に基づき放置された自転車の移送を実施しております。「指導整理区域内」の放置自転車は即日撤去が可能ですが、指導整理区域外についても、マナー啓発や警告等を行い、長期間放置が継続する自転車については移送を行うよう適切に対応してまいります。

(4) 子育て世帯の生活を支える住環境の整備

No	意見	区の考え方
75	<p>不忍池公園付近に浮浪者やホームレス、昼から夜までお酒を飲んでいる人がいて不衛生で教育にも良くない。</p> <p>鳩への餌やりや、路上喫煙なども子供に触れさせたくないのだから環境整備していただきたい。</p>	<p>上野公園は東京都建設局が管理をしておりますが、本区担当職員も東京都とともに路上生活者に対する生活相談や巡回相談等も行っております。今後も路上生活者の自立促進に向け、積極的に取り組んでまいります。</p> <p>また、区では、鳩への餌やり防止の看板やチラシを配布し、随時、相談や注意喚起を行っております。路上喫煙に対しては、条例で歩きたばこはやめるよう定めるとともに、街頭でのマナー啓発キャンペーンや、マナー指導員による巡回指導を実施しています。今後もそうした取り組みを継続して、喫煙する人とならない人が共存できる環境整備を推進してまいります。</p>
76	<p>台東区での歩きタバコをなくしてほしい</p>	<p>区では、条例で歩きたばこはやめるよう定めるとともに、街頭でのマナー啓発キャンペーンや、マナー指導員による巡回指導を実施しています。今後もそうした取り組みを継続して、喫煙する人とならない人が共存できる環境整備を推進してまいります。</p>
77	<p>現代は車を所持する人が減り、マンションでは駐車場が余り、駐輪場が足りない状況が多いと思う。台東区の条例等で、マンションの駐車場の確保よりも駐輪場の確保台数を増やして欲しい。</p>	<p>総戸数が10戸以上のマンションなどを計画する場合、「台東区集合住宅の建築及び管理に関する条例」に基づいた建築計画が必要になります。この条例では、マンションの引越し車両や、建築物のメンテナンス車両などを駐車させるため、敷地内に1台以上の駐車場の確保をお願いしております。駐車場を確保することは、路上駐車の防止や、道路を通行される方々に支障を与えないために必要と考えております。またこの条例では、マンションの住戸数と同数以上の駐輪場の確保もお願いしており、今後も引き続き、建築主に適切な駐輪台数の確保を指導してまいります。</p>

## 基本目標6 配慮を要する子供や家庭への支援の充実を図る

### (3) 生活の基礎を支えるための支援

No	意見	区の考え方
78	本当に貧困で困っている子の親にお金を渡しても子供は恩恵を受けない例もある。子供食堂や、学用品、あたたかい衣類は現物支給が良いのでは。	区では、学習支援及び子供食堂を実施している団体に対し、子供育成活動支援事業として補助金を支給しています。現在、NPO法人等により区内全域5箇所事業を実施しており、引き続き、必要な家庭が利用できるように今後も周知に努めてまいります。 また、学用品、通学服等は、学年や子供ごとの個別の状況に応じて、必要な物品が異なります。一律に現物支給を行うと、子供によっては必要な学用品等の支援が受けられない可能性があるため、本区の就学援助制度では、保護者が学用品の購入等に要する費用に対する援助を行っております。
79	私の周囲にも、「子ども食堂」に興味がある人もいるので、心の温かい方達が沢山いると思うので、もっと(必要であれば)いろいろもっとわかりやすい活動をしていただけるとせっかくなので良いのではないかと思います。	学習支援及び子供食堂を実施している団体に対し、子供育成活動支援事業として補助金を支給しております。現在、区内全域5箇所事業を実施されており、学習支援、子供食堂以外にも、各実施団体それぞれがイベントを行っておりますので、引き続き、必要な家庭に利用してもらうよう周知・広報に努めてまいります。
80	基本目標4)数年前に中学入学後すぐの宿泊をとまなう校外学習に「貧乏だから」参加できない生徒がいたと耳に入ってきました。もし事実、または費用の負担があつて、その可能性があるなら、時期の考慮や、個別の対応など対策してほしい。	1年生の5月に4校で実施している「オリエンテーション」のことと思います。費用負担ができずに、参加できない生徒がいたという報告を受けてはおりませんが、経済的な理由で支払いが困難なご家庭に対しては、就学援助制度にて援助を行っております。

## 基本目標7 若者が社会生活を円滑に営むことができるよう、支援する

### (1) 若者の社会的・職業的自立への支援

No	意見	区の考え方
81	若者施策については、「働きすぎ NO!」「8時間働けば普通に暮らせる社会を!」を台東区としてスローガン化し、労働条件について広める等、努力してください。	本計画では、若者施策について、第3部第3章基本目標7(1)において、就業に至っていない困難を抱えた若者に対する支援に主眼を置き、計画を作成しております。就業後の労働環境について、今後も区民の方等から情報提供、相談等があった場合には、国や都の機関に繋げ、対応してまいります。

No	意見	区の考え方
82	<p>基本理念から後半に至るまで、「若者の自立」を支援する環境を整えることを繰り返し述べているが、現在の台東区で育っている若者あるいは成人は、十分自立しているのではないか？「自立促進」に大きく区の力を注ぐならば、注がなければならない現状を明確に区民に対し、説明して欲しい。仮、特定セグメントの自立促進を指しているならば、一定の社会保証は必要だが、その他多数のセグメントに対する計画とのバランスをとることが必要。</p>	<p>本計画第1部第2章にも記載していますが、平成30年に実施した台東区次世代育成支援に関するニーズ調査により、広義のひきこもりは一定数いると推計しております。また、若年無業者（ニート）及びフリーターも、総務省労働力調査によると、毎年一定数存在することが推計されていることから、本区においても一定数の存在が想定されます。</p> <p>本計画は、「子供・若者育成支援推進大綱」を勘案した、計画全体の事業に若者に対する新たな視点を加えた計画としております。特に、第3章の基本目標7では、上記のような、ニート、ひきこもり等をはじめとする困難を有する若者を対象とする施策としています。計画全体の取組みを行っていくことで、すべての若者が困難な状況に置かれることがなく、社会的自立を果たせるようにしてまいります。</p> <p>その他の基本目標においても、現状を踏まえ、それに対応した事業を実施してまいります。</p>

## その他

### (1) 計画全般について

No	意見	区の考え方
83	<p>どれも、具体的な策が見受けられないため、目標達成は運次第になってしまう気がします。具体的な策があればもっと読みたいと感じます。</p>	<p>本計画は、計画全体の評価指標の実現に向け、7つの基本目標に分けて、その基本目標達成のために具体的な事業を記載しております。最終案では、各事業の令和6年度時点の具体的な事業量の目標を提示し、目標達成に向けて各事業を着実に実施してまいります。</p>
84	<p>お隣の江東区と比較すると、子育て支援にもう少し力を入れてほしいな…と率直に思っております。</p> <p>歴史深い町、台東区だからこそ、長く住む素敵な住民が増え、区が活性化していくことを節に願います。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、今後の区の施策の参考とさせていただきます。</p>

No	意見	区の考え方
85	子育て世代が安心して、子育て教育していくには、現状分析がもう一歩必要であると考えられる。	本計画策定にあたり、平成30年に子供や保護者を対象にニーズ調査を実施し、現状の把握に努めてまいりました。今後もいただいたご意見を踏まえ、今後の区の施策の参考とさせていただきます。
86	資料全体を通じて「現況」のみ記載されており、現在施行中の施策に対し、どれだけのコストが投じられ、どれだけの効果が得られているのかが不明。	第3章以下の各基本目標では、「現状と課題」に対応するための「今後の取組み」及び各事業を記載しております。また、現在の区の取組みに係る予算執行状況につきましては、毎年度の決算報告書で公表しており、効果についても現行計画記載の事業においては毎年1度進捗状況を確認し、子ども・子育て会議を兼ねた台東区次世代育成支援地域協議会において報告し、公表しております。
87	今は核家族が増え、1人で育児を背負わなければならない親がたくさんいます。昔は隣りのおばさんに頼めたことが現在は、行政の力を借りなければならず行政が追いついていないのでは…と思います。もう一度家庭と地域と学校で子供を育てる、ということに着目しては、と思います。	本計画では、前期計画の基本的な視点の3つを引き継ぎ、子供・若者、親、地域のそれぞれの立場に立ち、計画を作成しております。今後のご意見を踏まえ、さらなる事業の充実を図っていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。
88	核家族が増えている中で、相談相手や自分に代わって短時間でも子どもを預けられる人が得られないため、子育てが孤立化してしまう傾向があるように思います。 そのため負担感も大きくなり、お母様方が自由になれる場を（気軽に利用できる施設）を増やしてほしい。	本計画では、前期計画の基本的な視点の3つを引き継ぎ、子供・若者、親、地域のそれぞれの立場に立ち、計画を作成しております。今後のご意見を踏まえ、さらなる事業の充実を図っていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。
89	台東区は自営業の家庭が昔は多く、祖父母との関わりも沢山あったが、現在はマンション住まいが増え、関わりも減っています。子育て世代も多く、他の土地から来て住んでいる方も増えていますが、近隣との関わりは少ない。両親共働きで、保育園に預けたり、学童保育などを使用している世帯も多いが、時間内（保育時間）に迎えに行けなかったり、病気の時にどうするか？など、不安も沢山あります。保育園も増やしてくれているが、入園できない現状もある。地域との関わりが増えたり、困った時にすぐに頼ったり相談できる、しやすい環境が必要だと感じます。私は小学生の母ですが、両親共に帰宅が遅いので、子供2人で夕食をすませています。学童や児童館へ通わせていますので、安心なところもあります。子どもたちも親も安心して生活できる環境を望みます。	本計画では、前期計画の基本的な視点の3つを引き継ぎ、子供・若者、親、地域のそれぞれの立場に立ち、計画を作成しております。今後のご意見を踏まえ、さらなる事業の充実を図っていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

No	意見	区の考え方
90	台東区の子育て対策は全て遅れていて、魅力はない。	いただいたご意見を踏まえ、区民の皆様にもそのように思われぬよう、事業の充実に努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
91	台東区は観光の区としてのイメージが強いため、子育てには不向きという事を聞くこともしばしばあります。安心して子供を生めるように、金銭的な補助や、安心して子供を遊ばせることができる施設の拡充など、「子どもに優しい区」というイメージが定着すれば、さらに住みやすい区になるのではないかと考えております。 台東区に生まれ育って40年。これからも台東区に住んでいきますので、今度の展開を心より楽しみにしております。	いただいたご意見を踏まえ、引き続き子育て支援事業に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。
92	台東区の子供の現状と課題、また今後の取組みが書かれており、とてもわかりやすかったです。正直なところ、子供や子育てをする親たちに対する支援や取組みについて、知らないことも多々ありました。 行政の方々と実際必要とする方々との考えの隔たりがないように、今後もこまめに調査していただき、地域社会全体で、子どもたちを健全に育てていけるよう、(広報誌やSNSなども活用し)フィードバックしていただけると幸いです。	いただいたご意見を踏まえ、今後の区の施策の参考にさせていただきます。
93	「子供」という表現ですが、広報などすべてに言えることで、「子ども」に変えるべきだと思います。”供”というのは「お供」「お供え物」の意。子どもは権利行使の主体であるという子どもの権利条約の立場に立つべきです。	区では法律、条例、規則等で定めている場合を除き、基本的には「子供」は漢字で表記することで統一しております。ご理解のほどお願いいたします。
94	細部まで詳しい内容で、わかりやすく把握できました。特に貧困、格差、見えない子供の内容と今後の取組みは引き続き活動報告をお願いしたいと思いました。 ワークライフバランスの調和のとれた生活を営む取り組みに期待しています。	いただいたご意見を踏まえ、今後の区の施策の参考にさせていただきます。
95	子育ての大変さがよくわかります。よりいっそう地域、学校が、一体となって子供にむきあっていくべきだと思う。これからも台東区に住む子供達のためによりよい環境を整えていただきたい。	いただいたご意見を踏まえ、引き続き子育て支援事業に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

No	意見	区の考え方
96	子供をもつ親として、とても勉強になり、台東区の取組みに感謝と安心感でいっぱいです。いろいろと考え、取り組んで下さっている事を今回こちらの資料を見て初めて知りました。(すみません…)何か困った事があつたら区役所に行ってみようと思います。	いただいたご意見を踏まえ、引き続き子育て支援事業に取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

## (2) 保育園の入所基準（基本指数、調整指数）について

No	意見	区の考え方
97	多胎児の保育園基準ポイントがあつたほうがよい（港区、渋谷区などの事例）	保育所入所基準の指数は、保育の必要性を適正に判断するために適宜見直しをしています。現在、指数同一の場合の優先項目として「多胎児」を設定していますが、指数での加算については、多胎児の入園の状況や加算をされない他の申請者への影響などを考慮し、導入の必要性について検討してまいります。
98	仰願寺幼稚園及びあさくさナーサリースクールは運営する団体が同じであり、隣接しているため、きょうだい仰願寺幼稚園に在園しているならば、調整指数上の「きょうだい（卒園する児童を除く）が認可保育園に在園している」（4点）を認可保育園と同様に適用してほしい。	保育所の入所審査は、公平性・透明性の観点から、ご家庭の状況等から算定した指数を基に入所を決定しています。ご意見の調整指数は、きょうだい同一の認可保育所に入所しやすくなるように設けたものです。ご提案の内容は、認可保育所以外の一部の施設のみ指数加算の範囲を拡大することとなるため、公平性の観点などから実施は困難です。ご理解のほど、お願いいたします。